

まつり あつ祭

オンライン&オフライン(来場)
同時開催しました!



学びと出会いの詰め合わせ

「川崎の“市民館”を考える」フォーラム

開催報告



「川崎の“市民館”を考える」フォーラム - あつ祭 - を開催しました!

令和2(2020)年8月23日(日)、高津市民館のホールで「川崎の“市民館”を考える」フォーラム - あつ祭 - を開催しました。来場者は32名、オンラインでのご参加は20名で、合計52名の方にご参加いただきました。

プログラムは2部構成で、第1部はZoomというオンライン会議システムを使用して、Youtube生配信も行いながら、インスピレーショントークとトークセッションをしました。

第2部はワールドカフェで意見交換をして、市民館のあり方についてご意見やアイデアを沢山いただきました!



インスピレーショントーク 1・2

第一部

トークセッション



1
札幌から Zoom で札幌市図書・情報館の初代館長の浅野隆夫さんと繋ぎ、「Work Life Art」を主軸とした既存概念にとられない公共施設のあり方について自身のご経験や事例を交えお話いただきました。



3
会場とオンライン両方から質問・感想を受け付けました。図書の貸出をしないなど思い切った運営にした理由やプロセス、人材育成についての質問、その他多くの質問・感想が寄せられました。



2
続いて、埼玉大学の安藤聡彦さんより、コロナ禍により市民活動の重要性が再認識され、個人のニーズへの対応がカギであることなどお話いただきました。



4
市民館・図書館に共通して、人が何かをする過程にピースとして施設がはまっていることの大切さや連携で多様なニーズに対応できる可能性などについて語られました。

ワールド カフェ

第一部

発表



5
15分ずつ席替えをしながら4ページにある3つのテーマで意見交換をしました。社会的距離を保ち、移動の際はイスの消毒に協力していただくなど、新しい生活様式でのワークショップ進行となりました。



7
最後は、ワールドカフェで寄せられたご意見・アイデアを発表しました。各テーマごとにメンバーをシャッフルしたこともあり、面白いアイデアが創発的に生まれたグループもありました。



6
オンラインでは、Zoomというアプリのブレイクアウトルーム機能を活用して、個室に分かれ、各1名の進行役をつけて進めました。20代～70代まで幅広いご参加がありました。



8
真夏に多種多様な参加者の方が出会い、アイデアを交わした「あつ祭」は、あっという間に3時間が過ぎて、無事に終了しました！参加いただいた皆様、ありがとうございました！

今日の感想

今回のイベントが新しいムーブメントになることを期待しています

市民ももっと声をあげていきますので職員の皆さんも頑張りましょう

もっと自由に使えるところに変わって欲しいなあ

新しいあり方だけでなく基本的に大切にするべきこともあるはず

オンラインの活用など新しい取組は多くの人に興味を持ってもらえて良い

身近な学びの場ってどんな場所？

○もちろん市民館
○学校・カフェ・町内会館

○すでにある地域の活動の場をネットワーク化
○市民館と図書館が隣り合って相互利用できる場

○オンラインを活用した場
○好きなことを自宅で
○誰でも気軽に使えるオープンな場

○自己表現ができて楽しく活動できる場
○市民が主体的に運営する場

○地域の人との交流の場
○地域の人や団体が協働し学び合える場
○出会いがある場

○多様なニーズに合った場
○専門的な人に学べる機会がある場

どんな市民館だったら行ってみたい？

○魅力的でワクワクするコンテンツや環境がある

○職員やコンシェルジュが相談に対応してくれる体制がある

○リアルな場の価値を感じられる

○気軽に立ち寄れるオープンな場で、交流したりできる

○歩いて行ける身近な場所にある

○行けば面白い人に出会える

○自分らしく生涯学習ができる

○個人で行っても使える

○ついでに寄れる複合的な場

○いつ行っても何かやっていてつい通ってしまう

○社会教育の講座から気軽に参加できるものまでバリエーション豊かな企画がある

○インターネット環境が整っている

○オンラインで繋がれる

○20代以下の若い世代が地域に関わる機会がある

○地域愛を育てる

○予約がない時に自由に使える

問合せ先

川崎市教育委員会

生涯学習部

生涯学習推進課

TEL : 044-200-3304